

第64回大船渡市民芸術祭小・中学校音楽発表会

表現豊かな合唱や吹奏楽

11月2日、リアスホールで、第64回大船渡市民芸術祭小・中学校音楽発表会を行いました。

この音楽発表会は、小・中学校の合唱や合奏の取り組みを通じた情操教育の一環として開催しているものです。発表は、小・中学校の合唱や金管バンドのほか、高等学校の吹奏楽で構成。児童や生徒たちは、表現豊かで心温まる合唱や合奏を披露し、会場内は幸せな雰囲気になりました。



碓石海岸キャンプ場5周年記念感謝祭

市民に親しまれる施設へ

11月17日、碓石海岸キャンプ場を主会場に、同キャンプ場のリニューアルと碓石インフォメーションセンターおよび雷岩・乱曝谷展望台の完成5周年を記念し感謝祭が行われました。会場では、ふれあいミニ動物園、竹とんぼや望遠鏡などの作成体験コーナーなどの催しを開催。ふれあいミニ動物園では、家族連れがフクロウやウサギなどの小動物と触れ合い楽しい時間を過ごしていました。



(9) 広報大船渡 30.12.5(No.1140)

わらべ歌で遊ぼう！～だっこでおはなし会～

遊びながら絵本に関心を



11月3日、10月27日から11月9日までの第72回読書週間に合わせ、リアスホールで、わらべ歌で遊ぼう！～だっこでおはなし会～が行われました。

同おはなし会を企画した市立図書館職員が親子に絵本の読み聞かせをしたり、親子と一緒にわらべ歌などで遊びました。わらべ歌遊びでは、抱っこされて母親の歌声を心地よさそうに聞いている子どもたちの姿が印象的でした。

SBIいきいき少短サッカー教室 in 大船渡

サッカーで子どもを応援



11月18日、赤崎グラウンドで、SBIいきいき少額短期保険株式会社主催のサッカー教室が行われました。この取り組みは、被災地の子どもを応援するため平成28年から開催。会場では、Jリーグ川崎フロンターレの育成普及コーチの指導のもと、小・中学生向けのサッカー教室や未就学児童と保護者向けの親子レクリエーションが行われ、参加者は、サッカーの楽しさを存分に学びました。

トピックス 1

大船渡市消防団消防屯所復旧完了宣言

10月30日、市役所で、消防団消防屯所の復旧完了を宣言しました。東日本大震災津波によって市内21棟の消防屯所が全壊したことから、仮設車庫などを整備し、早期の消防屯所復旧を進めてきました。

この間、消防団の部の再編・統合を協議した結果、復旧する消防屯所を18棟とし、平成27年度から本年10月上旬にかけて整備を進めてきました。

10月20日には、18棟目となる消防団第11分団第6部の消防屯所の引き渡し式を開催。これにより、全ての消防屯所が復旧したことから、消防団消防屯所復旧完了宣言の運びとなりました。



①旧崎浜小学校校庭内に整備された第11分団第6部の消防屯所
②地域防災への決意を新たにする見世祐孝部長



①住民同士で協力し合い、毛布や衣服で応急担架作りを体験②倒壊家屋から救助を行う自衛隊員③消防署員協力のもと親子で消火訓練を体験④捜索訓練で優れた嗅覚で行方不明者を発見する災害救助犬

トピックス 2

平成30年度大船渡市防災訓練

11月11日、市内全域で、三陸沖を震源とする巨大地震を想定した防災訓練を実施しました。

各地区の自主防災組織では、津波避難訓練や炊き出し訓練、防災資機材の点検などを実施。参加者は、互いに声を掛け合いながら訓練に臨みました。

また、消防団では、地震による火災に迅速に対応できるよう、自然水利を利用した放水訓練などを行いました。

盛小学校グラウンドでは、4年に1度行われる自衛隊主催の大規模訓練「みちのくアラート2018」に関連した訓練などを実施しました。災害救助犬やドローンによる行方不明者捜索、炊き出し訓練、自衛隊・消防の車両や装備品展示のほか、初期消火や救急措置の体験コーナーが設けられ、参加した市民は緊急時の対応について理解を深めました。市内一斉に行われた訓練には約7,000人が参加し、防災意識の高さがうかがえる大規模訓練になりました。



(8)